

公共政策演習 IB

Seminar: IB

1 単位 (選択) 3 年 (後期)

水島 多喜男・教授 / 社会創生学科

【授業目的】 担当教員の研究対象は三分野あります。・第一は中東産油国の社会経済論。この地域はイスラームの強い影響下にあり、また、その多くが開発途上国であるため、分析方法としては経済学的手法と地域研究の手法を用います。・第二は、これと表裏をなすものとしての石油・天然ガス産業論。・第三は、これらを統合して理解するための基礎理論としての世界経済論です(ゼミの名称、には、一般的な「国際経済論」を使用)。ゼミでは、これらに関連する問題を中心に、世界経済の問題についての理解を深めます。

【授業概要】 毎回のゼミでは、担当教員の研究分野に限定せず、世界経済論の基礎理論と現実の問題の関連にかかわるテキストを輪読する。

【キーワード】 [キーワード]

【先行科目】 [先行科目]

【関連科目】 [関連科目]

【履修上の注意】 「世界経済論 I, II」は必修。ゼミは、自発的な学習の場であるとともに、会議の運営とプレゼンテーションの訓練の場でもあります。従ってゼミの運営には自治意識の涵養、信頼関係の醸成が基本になります。3年終了までに、経済史、経済学説史、近代経済学とマルクス経済学について基本的な教科書で良いから、通読することを進めます。経済学の古典に関心を持つこと。古典には教科書にない力があります。統計処理と語学力を高める努力を続けてください。

【到達目標】 世界的な経済現象について基本的論点を理解した上で、幅広い視野を養う。

【授業計画】 指定した図書を輪読する。

【成績評価】 授業への取り組み

【再試験】 なし

【教科書】 各年のゼミ募集要項を参照のこと。

【参考書】 [参考資料]

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220241>

【連絡先】

⇒ 水島 (2203, 088-656-7188, mizushim@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL

Target 担当教員の研究対象は三分野あります。・第一は中東産油国の社会経済論。この地域はイスラームの強い影響下にあり、また、その多くが開発途上国であるため、分析方法としては経済学的手法と地域研究の手法を用います。・第二は、これと表裏をなすものとしての石油・天然ガス産業論。・第三は、これらを統合して理解するための基礎理論としての世界経済論です(ゼミの名称には、一般的な「国際経済論」を使用)。ゼミでは、これらに関連する問題を中心に、世界経済の問題についての理解を深めます。

Outline 毎回のゼミでは、担当教員の研究分野に限定せず、世界経済論の基礎理論と現実の問題の関連にかかわるテキストを輪読する。

Keyword [キーワード]

Fundamental Lecture [先行科目]

Relational Lecture [関連科目]

Notice 「世界経済論 I, II」は必修。ゼミは、自発的な学習の場であるとともに、会議の運営とプレゼンテーションの訓練の場でもあります。従ってゼミの運営には自治意識の涵養、信頼関係の醸成が基本になります。3年終了までに、経済史、経済学説史、近代経済学とマルクス経済学について基本的な教科書で良いから、通読することを進めます。経済学の古典に関心を持つこと。古典には教科書にない力があります。統計処理と語学力を高める努力を続けてください。

Goal 世界的な経済現象について基本的論点を理解した上で、幅広い視野を養う。

Schedule 指定した図書を輪読する。

Evaluation Criteria 授業への取り組み

Re-evaluation なし

Textbook 各年のゼミ募集要項を参照のこと。

Reference [参考資料]

Contents <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220241>

Contact

⇒ Mizushima (2203, +81-88-656-7188, mizushim@ias.tokushima-u.ac.jp)

MAIL